

令和2（2020）年度 中部環境パートナーシップオフィス運営業務 年間報告書

■ 概要版 ■

※掲載したデータは全て3月22日時点集計。

■ 運営会議の設置・開催

会議	開催日	主な議事等
中部環境 パートナーシップ オフィス運営会議	第1回会議 6月1日 オンライン	運営会議設置要綱について／EPO中部の2020年度業務について
	第2回会議 1月22日 オンライン	EPO中部の2020年度実施業務について／EPO業務の今後の展開に関わる検討事項について
中部地方 ESD活動支援センター 企画運営会議	第1回会議 6月5日 オンライン	企画運営会議設置要綱について／中部地方 ESD 活動支援センターの2020年度業務について
	第2回会議 1月20日 オンライン	中部地方 ESD 活動支援センターの2020年度実施業務について／ESD業務の今後の展開に関わる検討事項について

■ 基本業務

■ ホームページの更新及び維持管理

	URL	年間更新 回数・計	年間アクセス数（ページビュー数）			
			2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
EPO中部 ウェブサイト	http://www.epo-chubu.jp	228回	495,659件	860,157件	279,316件	335,028件
中部地方ESD活動支援センター ウェブサイト	https://chubu.esdcenter.jp	89回	12,796件	12,251件	10,612件	4,857件

■ ウェブサイトリニューアル公開（ドメイン等は継続）

旧サイト

EPO中部の活動等をお知らせ・PRするサイト

新サイト

EPO中部を活用してもらうための入口サイトに

12/25に
リニューアル
公開

■ 地域ニーズの把握

- EPO中部・協働コーディネーターへの調査、イベント参加者アンケート結果などを整理し、中部地方環境事務所へ「EPO業務に対する地域ニーズ調査結果」として提出した。
- 遠隔地である北陸・信州やイベント開催数の少なかった三重県の地域ニーズの拾い上げができた。

■ 照会・相談対応（年間合計件数）

- 新型コロナウイルス感染症の影響（2020年4～5月、2021年1～2月にEP0施設内オープンスペースの一般開放を中止）により、前年と比べて相談件数の合計数は少なくなったが、電話・メールでの相談、自治体・NP0・企業等からの相談件数は前年までとあまり変わらず、来所しての相談と学校関係者からの相談件数が減少した。

相談に対し（広報協力以外の）支援対応等を行った案件事例件数※1	照会・相談対応等の延べ件数	来館件数 延べ件数※2				メール・電話による相談、問合せ、広報依頼等延べ件数※2
			相談・照会、資料配架依頼等	会議利用	その他情報収集、資料収集等	
41	274	83	10	52	21	191

※1）事例件数：最初の連絡から対応終了までの（その間の連絡・打合せ等を含めた）案件ごとにカウントした数。

※2）延べ件数：同じ案件・用件での来館、メール・電話等であっても、個別に回数をカウントした数。

■ 対話の体制の構築（年間実施合計件数）

会議・セミナー等への講師登壇、委員委嘱等	地域との打合せ・業務説明等	後援・協力依頼	
		EPO	ESD
19件	86件	4件	8件

■ 施設・設備の維持管理（年間施設利用件数）

業務実施日数	開館日数	来館者数	来館件数	メール・電話による問合せ件数
256日	233日	166人	83件	191件

■ 協働取組の促進のための業務

■ 協働コーディネーターとの連携業務の実施結果

- EP0中部・協働コーディネーターと連携・協力して、コーディネーターの拠点地域で、次表の通り、主催イベントを開催した。

区分	開催場所	開催日	参加者	実施内容	開催方法
① 協働コーディネーターと連携したフォーラム	長野県松本市	11月10日	49名 会場20名、オンライン29名	- 運営委員／協働コーディネーター・山室氏の協力を得て開催。 - 共催：松本市、後援：長野県。	ハイブリッド（現地開催＋ライブ配信）
② 環境教育推進業務【富山エリア】	富山県富山市	8月20日	22名（13校）	協働コーディネーター・堺氏との連携業務（3年目）。	現地会場開催
③	配信拠点：富山県富山市	12月12日	82名 会場51名、オンライン31名	- SDGs・地域循環共生圏づくりの普及・啓発事業を展開。 - フォーラムでは3年間の成果発表を実施（環境教育学会にて）。	オンライン（ライブ配信）
④ 環境教育推進業務【小浜エリア】	福井県小浜市	9月12日	12名	- 協働コーディネーター・中島氏との連携業務。 - 小浜市が進める「食のまちづくり」をテーマにした地域循環共生圏づくりを目指す事業を展開。	現地会場開催
⑤	福井県小浜市	12月20日	50名	次年度PF事業に応募。	現地会場開催



①信州の地域循環共生圏セミナー「地域循環共生圏づくりの取組ハジメにあたり」



③SDGs フォーラム 2020「SDGs時代のパートナーシップ～「学び」と「協働」のスパイラルで未来を拓く～」

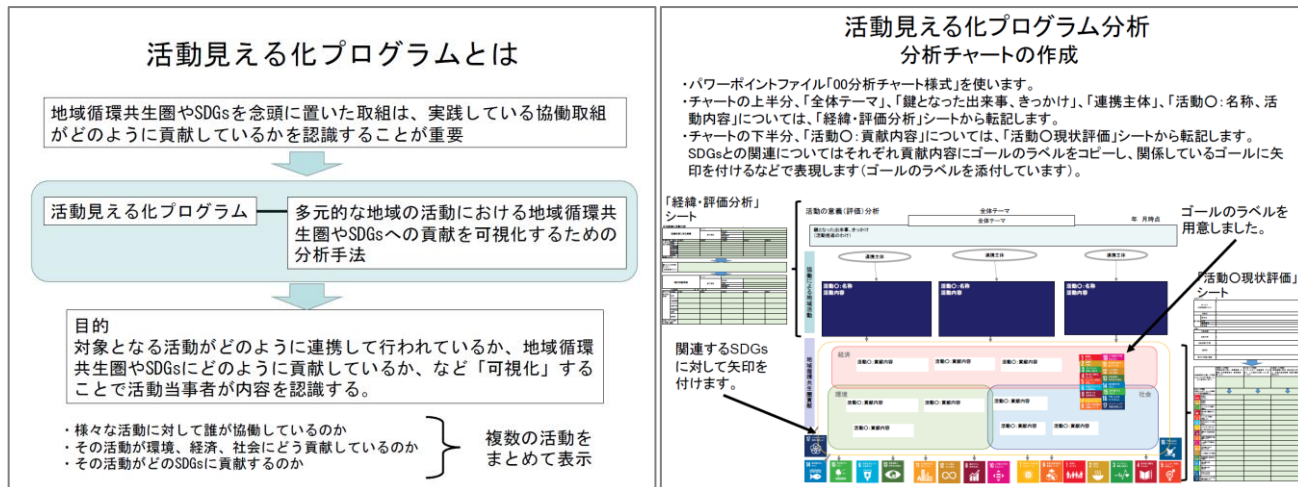


⑤地域循環共生圏フォーラム「人口減少社会における地域の課題と食のまちづくり」

活動見える化

- 2018・2019 年度にかけて構築した「活動見える化プログラム」のチャート図作成における基本モデルを整理し、EPO 業務・ESD 業務で関わりのあった地域、団体の取組・事業を対象に、チャート図 7 件を作成した。

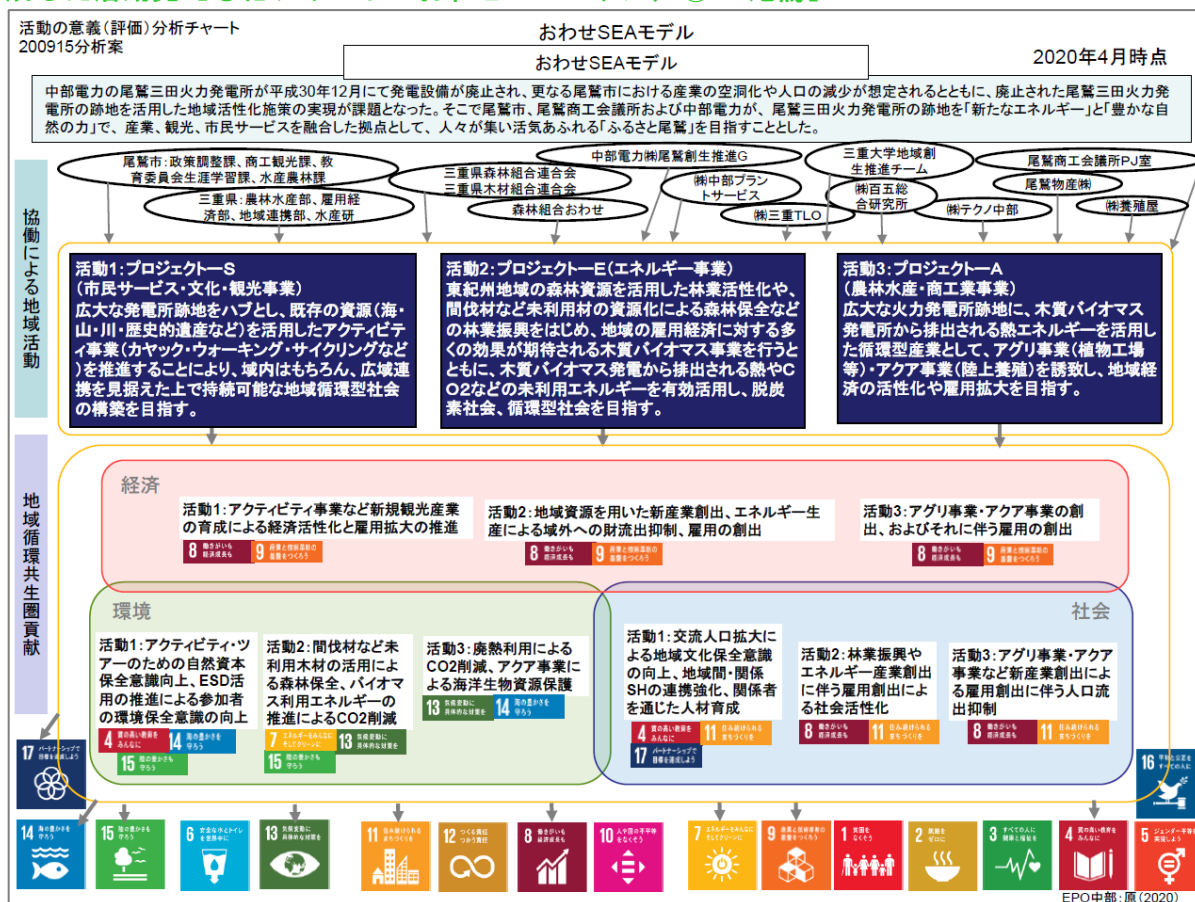
【活動見える化チャートの基本モデル】



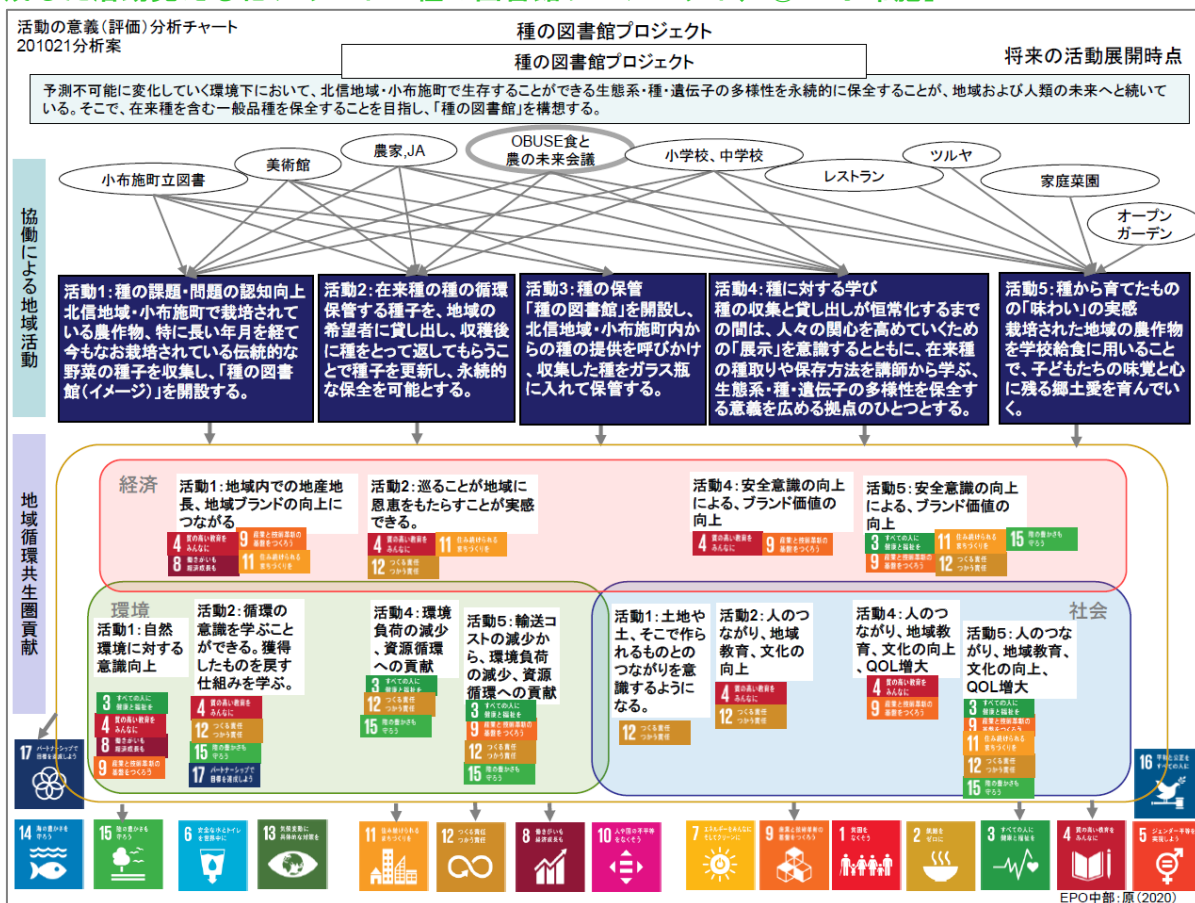
【今年度作成した活動見える化チャート事例】

事例名	活動団体
① 持続可能で包摂的な社会実現に向けた中間支援的アクション	PEC とやま
② 福井県小浜市『食のまちづくり』条例第 5 章が求める活動	福井県小浜市
③ おわせ SEA モデル	【PF 尾鷲】おわせ SEA モデル協議会
④ 種の図書館プロジェクト	【PF 小布施】スマート・テロワール協会
⑤ コンパクトシティ戦略による持続可能な付加価値創造都市の実現	富山県富山市
⑥ IMAGINE KANAZAWA 2030	石川県金沢市
⑦ なごや環境大学 SDGs 未来創造クラブ	愛知県名古屋市

【作成した活動見える化チャート：おわせ SEA モデル／③PF 尾鷲】



【作成した活動見える化チャート：種の図書館プロジェクト／④PF 小布施】



■ 中部地方 ESD 活動支援センター運営業務

■ ESD のための SDGs チェックリストの活用及びパッケージ化

- 昨年度作成した「ESD のための SDGs チェックリスト」の活用講座を開催した。
- また、SDGs チェックリストを活用したワークショップ等で使用する資料ツールをパッケージ化し、Web サイトに公開した。

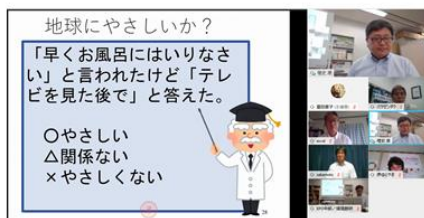
中部ESDC主催SDGsチェックリストの活用WS

2020年6月29日
視聴参加者：49名

①中部ESDCオンライン

ESD拠点スタッフ3名、および協働コーディネーター参加により、ワークショップをオンラインで実施。及びYouTubeで配信。後半はファシリテーター養成ワークショップを実施。

【第1部】体験しよう！実は身近なSDGs では、当センターの Web参加者の皆様は「ワークシート」を記入し1人ずつ発表！原がクイズを交えながらSDGsについて説明。



【第2部】SDGsチェックリスト活用ファシリテーター講座 では、パッケージツールについて説明を行った後、SDGsチェックリスト活用企画ワークショップに！



SDGsチェックリストWS用パッケージを公開

ワークショップ用のツール一式をWebサイトに公開。
6/29開催のSDGsチェックリスト活用セミナーの動画も公開。



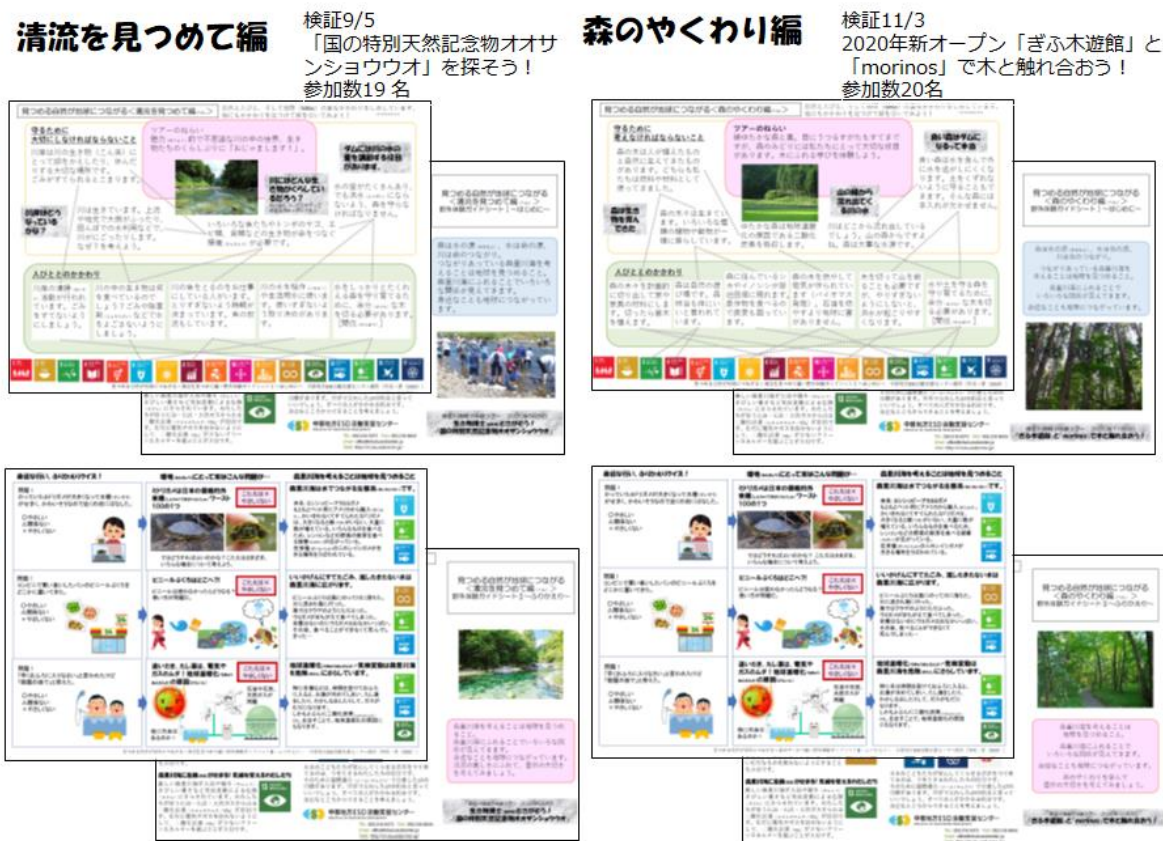
The screenshot shows the homepage of the 'Chubu Regional ESD Activity Support Center' website. It features a navigation menu with links to 'SDGs Checklist', 'Workshop Package', and 'Seminar'. The main content area includes a 'New Version Complete!' announcement, a list of SDGs, and a section for the 'SDGs Checklist (Basic Version)' which is available as a worksheet or a checklist. There is also a section for the 'SDGs Checklist (Workshop Package)' which includes a worksheet and a checklist. A video player shows a recording of the 'SDGs Checklist活用セミナー' (SDGs Checklist活用セミナー) held on June 29, 2020.

学生等を対象としたコンテンツ等の開発

- 岐阜県の委託でエコツアーを実施する旅行会社と協働で、自然体験ツアー等で活用可能なガイドシートを作成した。

学生等を対象としたコンテンツ 野外体験ガイドシート

ガイドシートⅠ
～はじめに～



The screenshot shows a two-page guide sheet for outdoor experiences. The first page, titled '清流を見つめて編' (Looking for Clear Water Edition), includes a '森のやくわり編' (Forest Roles Edition) section. The second page, titled 'ガイドシートⅡ～ふりかえり～' (Guide Sheet II ~Summary~), includes a '森のやくわり編' (Forest Roles Edition) section. The guide sheet is designed for students and includes various activities, questions, and illustrations related to nature and the environment.

ESD 推進のためのダイアログ（対話の場）の開催

白山から発信！ユネスコエコパークを活かしたESD/SDGsの実践を考える （オンライン開催）

第1部 白山ユネスコエコパークからESDの取組を考える 【話題提供】

- ユネスコエコパークとESD/SDGs
水谷 瑞希氏 信州ESDコンソーシアム（信州大学）
- 白山ユネスコエコパークについて
和田 廣氏 白山ユネスコエコパーク協議会事務局（白山市）
- 白山国立公園について
迫 裕樹氏 環境省白山自然保護官事務所自然保護官

第2部 ユネスコエコパークを活用したESDの実践

【事例報告】

- 白山ユネスコエコパーク 奥原 陽子氏 高山市立荘川中学校
- 志賀高原ユネスコエコパーク 菅原 勇介氏 山ノ内町立南小学校
- 南アルプスユネスコエコパーク 松崎 和美氏 飯田市立上村小学校

【ディスカッション】

- 小金澤 孝昭氏 ESD/ユネスコスクール・東北コンソーシアム
- 加藤 隆弘氏 北陸ESD推進コンソーシアム（金沢大学）
- 水谷 瑞希氏 信州ESDコンソーシアム（信州大学）

ディスカッションのとりまとめオンラインホワイトボード

地域で学ぶ 自分ごととして取り組むことにつながる どのように社会にかかわっていくのかの経験 地域とのつながり・かわり どのような子どもたちを育てていきたいのかを明確に 郷土教育：自分ごとになるための取り組み、地域のことをきちんと学ぶ 社会とどう結び付けるかでSDGs ESDを理解して取り組みを進めている（抵抗、整理、克服） 地域づくりはどう結び付けるか 地域づくりの方向性が見えてきた SDGs 中学校では教科書に入ってくる 課題を自分ごとに、カリキュラムマネジメント	エコパークでの学び 持続可能な地域をつくる必要 地域の資源、魅力 → 地域づくりにどう結び付けるか 特別なこと／普通のこと 世界農業遺産、GP、EP、世界遺産 誰でもそれに関心を持つ（共通テーマ）としての利用 発信できるコンテンツ／生々しい課題 関係人口を増やすフック、産業づくり（認証制度） 中では気づかない価値・魅力、他地域の視点（わかりなおし） 地域の魅力、誇り、ブランド（看板） 社会とどう結びつけるか、発信 子どもたちが大事に思うことを大切に つながり 整理し、見える化することが大事 EPは地域の課題を共通して抱えている この実践をどう一般化するか 自然そのものの教育
---	---

オンライン
参加者29名
開催後2週間の
YouTube配信
視聴者40名

ESD/SDGs 推進ネットワーク地域フォーラムの開催

2/14開催・ESD/SDGs推進ネットワーク地域フォーラム

YouTubeライブ配信
の視聴者40名
zoom参加35名

ユースと自治体によるSDGsオンラインフォーラム

「ローカルSDGsを目指した地域づくり！若い力を結集しよう！」

○概要

中部大学中部高等学術研究所デジタルアースルーム
（壁面大型スクリーンと各種デジタルデータベースによる
GIS活用）をハブとしたオンラインネットワークによるSDGs
に向けた地域課題解決のためのディスカッションをオンラ
インで開催する。

○日時・場所 2021年2月14日（日）13:30～16:30

ハブ：中部大学中部高等学術研究所デジタルアースルーム
サテライト：コア参加メンバー（自治体担当者、大学生）の各サイ
トまたは個人

○参加対象

- ・コア参加：オンラインミーティングに参加
- ・一般参加：動画のライブ配信 一般視聴者を対象にEPO中部
等で広報、動画配信

○プログラム

- ・自治体SDGs施策、地域活動紹介
- ・学生のESD/SDGs活動の紹介
- ・ディスカッション
「活動分析チャート」「地域SDGsデータセット」を見ながら
地域のローカルSDGs達成のために、すべきこと、できること！

主催：中部地方ESD活動支援センター

協力：中部大学中部高等学術研究所、
国際GISセンター問題複合体を対象と協力するデジタル
アース共同利用・共同研究拠点



コア参加者予定

自治体職員

SDGs施策実施中の自治体

SDGs未来都市

名古屋市環境局環境企画部環境企画課

富山市環境部環境政策課

金沢市都市政策局企画調整課

ユース・学生

SDGs活動に関心のある学生

富山大学 学生グループ

金沢星稜大学 新広昭先生ゼミグループ

名古屋市立大学 三浦哲司先生ゼミグループ

中部大学 伊藤佳世先生ゼミグループ



SDGs へ向けた ESD 推進のための教育現場の実態把握と連携強化

- SDGs を推進する教育関係者等にヒアリングを実施し、今後の連携の可能性について検討を行った。

調査対象	調査結果と今後の連携に関する検討
高校教育現場：富山県 高校教員向け ESD セミ ナー参加の教職員	- ESD の実現として「総合的な探究の授業」の実践と研究の推進における情報提供や連携 - 教職員を含む学習現場の関係者に ESD の概念を伝える講座、研修の充実における人材紹介や情報提供等の支援
学校行政・教育現場： 愛知県ユネスコスクール 交流会（愛知県教育 委員会）	- ESD が社会（地球）教育全体の包含概念であることを示すキャッチコピー作成やツールの開発 - 教職員を含む学習現場の関係者に ESD の概念を伝える講座、研修の充実における人材紹介や情報提供等の支援 - 学校教育活動の地域社会活動連携の SDGs 上の位置づけの習慣化促進における支援や連携

地域循環共生圏の創造に資するための推進業務

地域プラットフォーム支援業務

- 事業着手にあたり、プラットフォーム（PF）5 団体へのヒアリングを実施し、ヒアリング結果を所定のヒアリングシートに整理すると共に、支援計画シートを作成し、中部地方環境事務所と共有のうえ、PF 事業支援事務局本部に提出した。
- また、PF 5 団体それぞれの意見交換会を実施し、各団体の「ローカル SDGs」作成、「事業のタネ」検討などを行った。

【プラットフォーム採択時ヒアリングの実施】いずれもオンラインで実施

活動団体名	実施日	ヒアリング項目
【新規】PF郡上：郡上市地域共生圏協議会	5月21日	Q.0: 事業内容の概要の整理と共有
【新規】PF越前：越前市イノベーション研究会	5月21日	Q.1: 本事業によって将来目指すこと／今年度目指すことは Q.2: ビジョンの実現に向けて今年度何をどこまで取り組むか
【継続】PF根羽：長野県根羽村	5月18日	Q.3: 事業を進める上での資源や強み
【継続】PF小布施：スマート・テロワール協会	5月20日	Q.4: 事業を進める上での課題やそれを解決するための方策
【継続】PF尾鷲：おわせSEAモデル協議会	5月22日	Q.5: 事業を進める上での懸念点等 Q.6: 今後の進め方、スケジュールに関する要望

【意見交換会の実施】いずれも現地でワーキング（PF 小布施はオンラインも併設）

PF採択団体	実施日	実施内容 ★: 活動見える化プログラムを活用
【新規】PF郡上：郡上市地域共生圏協議会	10月28日	ローカルSDGs(地域の未来像)のアイデア出しワークショップ
【新規】PF越前：越前市イノベーション研究会	10月27日	スマートシティ実現に向けたディスカッション
【継続】PF根羽：長野県根羽村	10月14日	「フォレストガーデン構想」我がごと化ディスカッション
【継続】PF小布施：スマート・テロワール協会	10月21日	「種の図書館」プロジェクトのアイデア出し★
【継続】PF尾鷲：おわせSEAモデル協議会	11月5日	協議会と企業等による意見・情報交換会★

PF郡上の例（ローカルSDGs、地域ビジネスをテーマにしたWSの運営）

地域共生圏の創造に資するプラットフォーム構築事業を活用しています

郡上市地域循環共生圏勉強会

全4回
参加費
無料

地域内で、人、物、お金が回る
仕組みを作って、みんなで、
「持続可能な郡上」を作ろう

対象 郡上市民、郡上市内の企業、郡上市内の団体
市役所関係者等、その他、ご興味がある方。

申込み 事務局までEmailでお申込みください。
info@gujoenergy.com

コロナ感染対策のため、人数制限があります。
当日の急なご参加は、お断りする場合があります。
ご参加希望の方は、必ず参加申し込みをお願いします。
また、録画配信、オンライン配信を希望される方も配
信希望とご連絡ください。

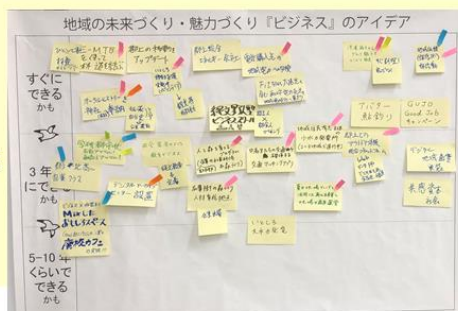
日時	会場	テーマ
8月28日（金） 13:30～16:00 録画配信	総合文化センター 多目的ホール	地域循環共生圏って何？ 環境省白山国定公園等のスปีカーを迎え、地 域への思いや考えを共有する
9月29日（火） 13:30～16:00 録画配信	白鳥ふれあい 創造館	再生可能エネルギーを見直す 再生可能エネルギーを地域循環共生圏づくり の資源として見直す
10月28日（水） 13:30～17:00 録画配信	白鳥ふれあい 創造館	ローカルSDGsをデザインする 郡上市版ローカルSDGsを、ワークショップで デザインする
11月25日（火） 13:30～17:00 オンライン配信	白鳥ふれあい 創造館	地域ビジネスを再考する 地方創生イノベーター谷中穂高氏を迎え、地域 ビジネスアイデアをワークショップで創造する

主催：郡上市地域共生圏協議会 協力：環境省EPO中部

3回目



4回目



PF事業中間報告会でのPF郡上による発表資料より

PF 支援における「活動見える化プログラム」の活用

- PF の意見交換会では、PF 小布施、PF 尾鷲が意見交換会で「活動見える化プログラム」のチャート図を用いたディスカッションを実施した。（その際作成したチャート図を p3・p4 に掲載。）

【PF 事業の全国中間報告会（12/8 開催）における PF 尾鷲の発表】

PF事業の全国中間報告会（12/8開催）でPFが取組成果を紹介：PF尾鷲の場合

おわせSEAモデル構想ステークホルダー・ミーティング

（目 的）おわせSEAモデル構想の取組紹介及びSDGs・地域循環共生圏への貢献性の解説
関係事業者からの意見を踏まえ、地域資源・価値の再発見に取り組み、プロジェクトの更なる推進とステージアップを目指す

（日 時）令和2年11月5日（木）13：30～16：30

（参加者）35団体、76名

【意見交換会を開催したことにより得られた成果等】

- おわせSEAモデル構想の進捗状況の共有
 - 各PJにおける新たなエリアプランと今後の取組
 - 撤去工事の進捗状況
- 構想実現に対する意見・課題の共有
 - 津波浸水域
 - 大都市圏からの距離及び足元商圏人口の少なさ
 - 中核となる事業主体・運営主体が見えない など
- 課題解決に向けたアイデアの共有
 - 地域資源の積極的な活用・PR（ex.海上釣り堀）
 - 近隣市町と連携したバイオマスの熱利用
 - エネルギーの地産地消を軸とした
個々のアイデアの結び付け など
- 今後のステークホルダー巻き込みに係る機運の醸成
- 企業マッチングによる新たな事業の可能性



PF 尾鷲の意見交換会では、SDGs・地域循環共生圏への貢献性の説明において、「活動見える化プログラム」のチャート図を用いた。

PF事業中間報告会でのPF尾鷲による発表資料より

15

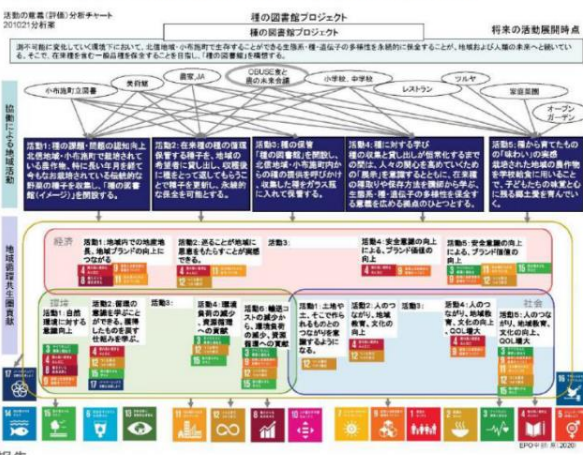
【PF 事業の全国中間報告会（12/8 開催）における PF 小布施の発表】

PF事業の全国中間報告会（12/8開催）でPFが取組成果を紹介：PF小布施の場合

「種の図書館プロジェクト」の「活動見える化」分析を検討する（10/16）

実践している協働取組が、地域循環共生圏やSDGsにどのように貢献しているかを認識するために、「活動見える化」分析を活用し、改めて実施する意義を定義する。

【意見交換会を開催したことにより得られた成果等】



活動3.「種の保管」の環境・社会、経済への効果が定まらず空白だった。

皆でのディスカッションの結果、これが一番大事で、北信地域で原種センターは1か所しかなく、昨年の水害の被害が影響していたら、伝統作物の種が失われるところであったことが共有された。

実は、活動3がこのプロジェクトの核となっており、自立分散の保管が重要であることが分かった。

PF 小布施は、意見交換会で「活動見える化プログラム」のチャート図を用いたことについて、議論の対象テーマであった「種の図書館プロジェクト」について、今後の展開のあり方等を具体的に掘り下げることができたとの成果を報告していた。

PF事業中間報告会でのPF小布施による発表資料より

17

地域循環共生圏の担い手主体（団体等）の把握及びネットワーク形成

- 地域循環共生圏構築への発展性を有する組織2団体にヒアリングを実施し、その結果をとりまとめた。

対象団体	実施日	ヒアリング方法
芋井地区住民自治協議会（長野県長野市芋井地区）	2月4日	担当者に面談して聴取
WAC おばま（福井県小浜市）	2月6日	

EPO 中部のこれまで集積したネットワーク及びノウハウの整理

- 2018・2019 年度にかけて作成した「中部エリアの展覧可能な環境イベントリスト」「EPO 中部業務関連の過去報告書リスト（各報告書をアーカイブ公開）」のほか、活動見える化プログラム、EPO 中部・協働コーディネーターリスト、SDGs チェックリストを EPO 中部 Web サイトのリニューアルにあわせて、《お役立ちツール》コーナーを新設して公開した。



環境基本計画に沿った環境教育支援業務

地域住民・市民等向けのワークショップ開催

- 名古屋市緑区の片平学区を対象に、SDGs をテーマにしたワークショップを実施した。

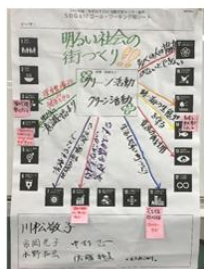
EPO中部主催 名古屋市緑区片平学区WS

2020年11月14日
参加者：32人

みんなあつまれSDGs！「今」から始まる明日への取り組み

第1部 おとな子どもも、いっしょに学ぼう！「SDGsってなんだ？」

- オープニングクイズゲーム「あなたは地球にやさしい？」
 - 紹介：みんなの地元、片平学区の環境活動
 - 解説：未来の地元を考えるために
- 第2部 今から始まる明日への取組
- ワークインプット「ローカルSDGsとは」
 - ワークショップ「SDGs地元から世界へ」



中日新聞令和3年11月16日朝刊名古屋市民版



みんなあつまれSDGs！
「今」から始まる明日への取組
片平学区50周年記念「環境学習会」によって

日時▶ 2020年11月14日(土)
13:30～16:30

場所▶ 片平ふれあいセンター
愛知県名古屋市緑区瑞穂町天白90

定員▶ 50名※小学生以下は保護者同伴

申込先▶ 片平学区連絡協議会
☎ 03133su@yahoo.co.jp
(会長：杉野友昭 まで)

お名前・年齢・メールアドレス・TELを添えて
10月31日 までにお申し込みください
※定員になり次第の締め切ります。

プログラム ※講師はすべて依頼

第1部 おとな子どもも、いっしょに学ぼう！「SDGsってなんだ？」

- オープニング：クイズゲーム「あなたは地球にやさしい？」
- 紹介：みんなの地元、片平学区の環境活動 杉野友昭 氏 (片平学区連絡協議会会長)
- 解説：未来の地元を考えるために 千歳 敬氏 (日本福祉大学教授)

第2部 今から始まる明日への取組

おとな 対話して、考える！
「地元から発信！未来の名古屋」
コーディネーター：原 博史 (EPO中部)

- ワークインプット「ローカルSDGsとは」
西田 知生 (環境省や学校での環境活動)
- ワークショップ「SDGs地元から世界へ」
SDGsチェックリストを使って今後の環境活動を考えます。
自分の地元のSDGsから世界へつながります。
- まとめ、講師
千歳 敬氏 (日本福祉大学教授)

子ども 作って、考える！
「竹をぼう！竹で遊ぼう！」
指導：なごや竹協会 (ちくわい)

名古屋市の林について、クイズ形式で学んでみる。竹を使って「竹ぼうし」や「竹ひし」を作ります。自分の地元の竹から世界へつながります。

※新型コロナウイルスの状況によっては、会場変更のためイベントを中止し、お名前登録の返金処理を行う場合があります。お申し込みにご同意ください。

主催：環境省中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部) 同席：名古屋市片平学区連絡協議会

関係主体との連携及び協働に関する業務

中部地方環境事務所との情報共有及び意見交換

- 中部地方環境事務所の担当官との定期的な打合せを月1回以上実施し、業務の進捗状況、方向性などについて協議を行った。
- 日々の業務について、毎月、所定の様式の報告書を作成し、中部地方環境事務所へ提出した。

中部地方環境事務所が開催する会議への出席、資料作成対応等として実施したこと

行事等	実施日	EPO 中部による対応
白書を読む会	7月10日 オンライン	EPO 中部スタッフ2名が視聴参加した。
中部カンファレンス	12月9日 オンライン	EPO 中部スタッフ1名が視聴参加した。
全国ユース環境活動発表大会（中部大会）	(12月19日 オンライン開催)	審査委員として長野県 NPO センター事務局長・山室秀俊氏を中部地方環境事務所に推薦した。
外部評価委員ヒアリング	2月10日 オンライン	EPO 中部スタッフ3名が同席し、作成した「第5期中間報告書」の説明、委員からの質疑に回答した。
中部カンファレンス	2月27日 オンライン	EPO 中部スタッフ2名が視聴参加した。

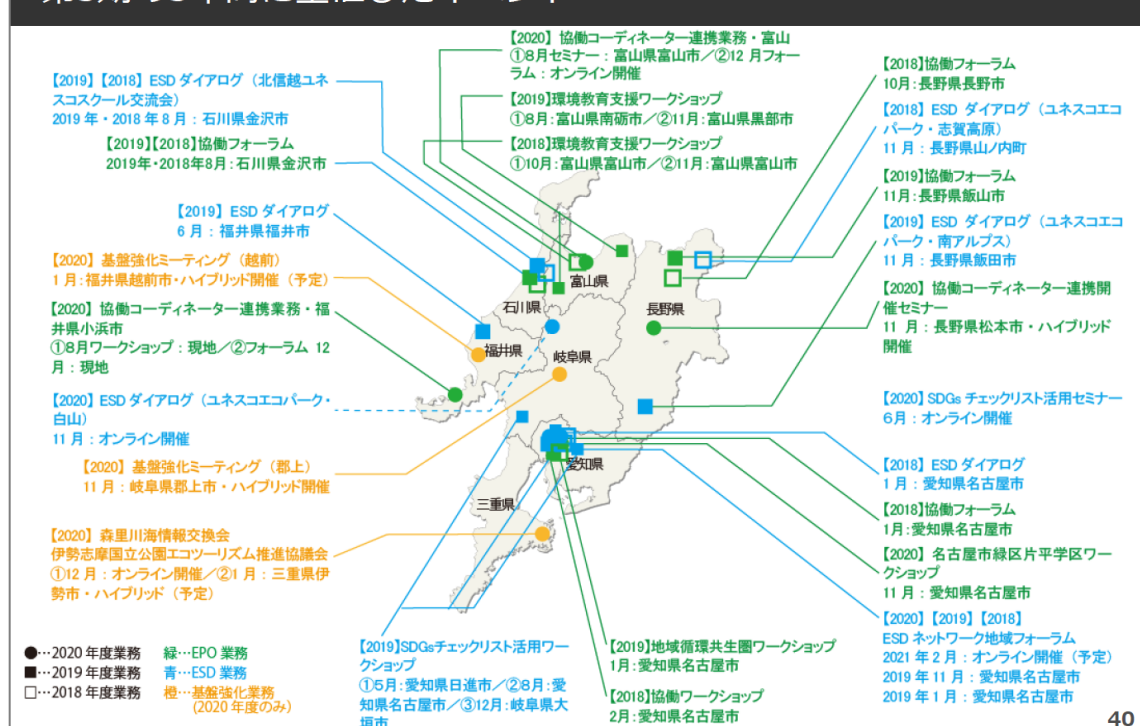
【作成した第5期中間報告書（2020年12月時点作成・提出）】

- 作成した第5期中間報告書（全44頁）は、中部地方環境事務所 Web サイトで公開されている。

http://chubu.env.go.jp/earth/mat/m_2_2.html

環境省中部環境パートナーシップオフィス運営業務 第5期(2018～2020年度)中間報告書 2020年12月 一般社団法人 環境創造研究センター	環境省中部環境パートナーシップオフィス運営業務 第5期(2018～2020年度)中間報告書 目次 - 第5期EPO中部の目標と方針 - 第5期における主な取組 【方針①】「活動支援に資する主体・場・仕組みのデータ集」の作成・活用 【方針②】「活動見える化プログラム」の構築・検証 【方針③】「EPO中部・協働コーディネーター」の活用展開 【方針④】「SDGsチェックリスト」の作成・活用 - 第5期の取組についての総括 ① 3年を取り組んだことによる成果 ② 課題 ③ 今後に向けて
--	--

第5期の3年間に主催したイベント



報道対応等

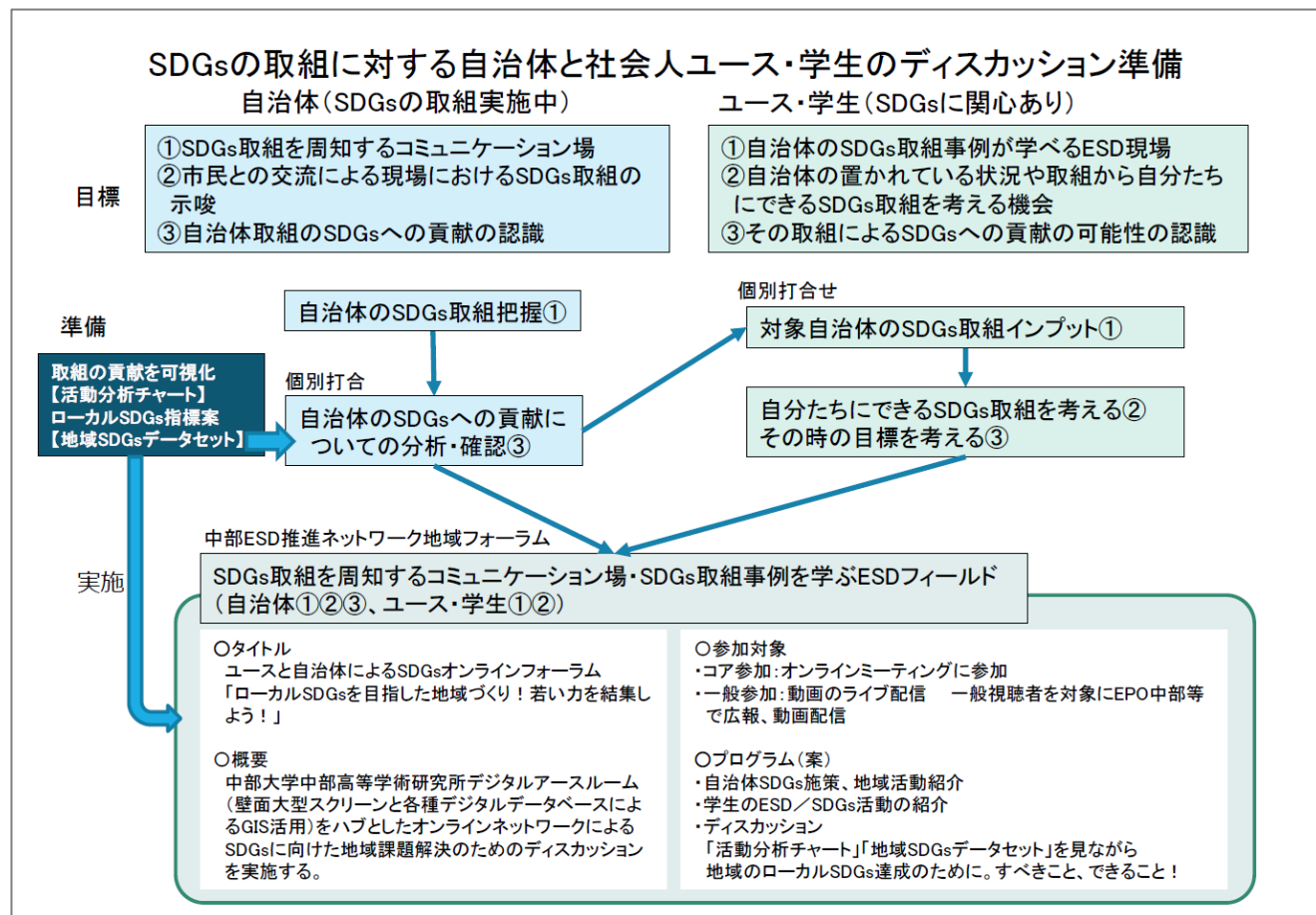
- 今年度に実施した主催イベントで次の2イベントにおいて報道機関による取材があり、記者対応を行った。

主催イベント	開催日	報道対応等の結果
富山県富山市で開催した 高等学校教員向け SDGs 教育セミナー 『総合的な探究の時間』における SDGs 教育	8 月 20 日	・ 地元テレビ局（富山テレビ）の取材があり、ニュース番組で放映された。
名古屋市緑区の片平学区で開催した 「みんなあつまれ SDGs！」「今」から始まる明日への取組～片平学区 50 周年記念「環境学習会」によせて	11 月 14 日	・ 新聞記者による取材があり、中日新聞市民版に記事が掲載された。

学生参加における関連校の登壇への考慮

- EP0/ESD 行事への学生参加の企画について、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から学生を集めたイベント企画が難しく、2 月 14 日開催・中部地方 ESD/SDGs 推進ネットワーク地域フォーラムに大学生と自治体職員がオンライン登壇する企画を行った。
- 登壇学生は、SDGs 未来都市に選定された自治体所在の大学の学生であり、EP0 中部運営委員、中部地方 ESD 活動支援センター企画運営委員の協力を得て、登壇に向けた調整を実施した。

【フォーラム企画資料より】



全国・各地方とのネットワークの活用及び連携の確保・強化

- 全国の地方 EP0・GE0C・ESD 活動支援センター等から招請のあった会議・イベント等で、計 33 の会合（ウェブ会議含む）に出席した。

【参考】2020 年度業務一覧

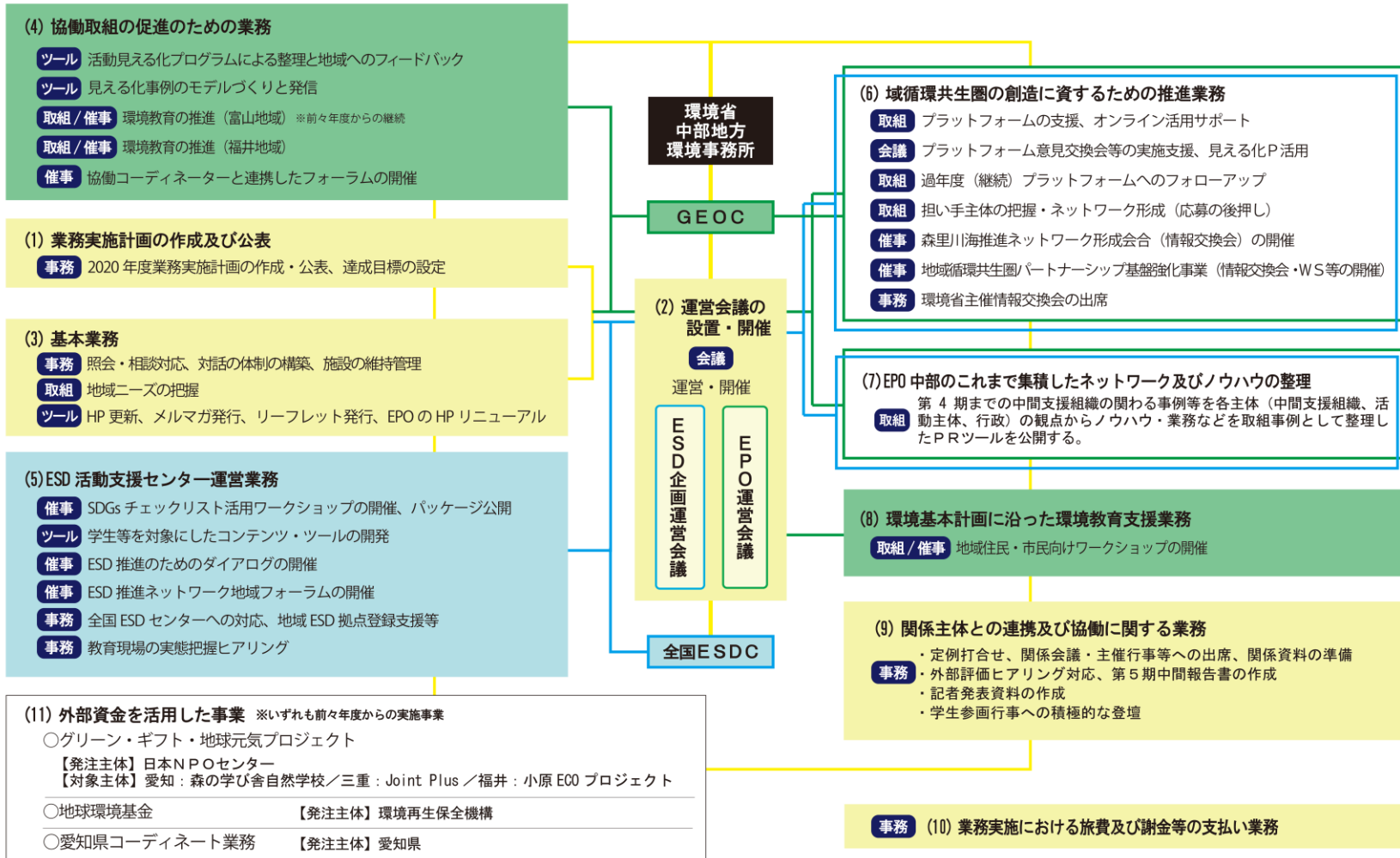
中部環境パートナーシップオフィス運営業務 2020 年度業務一覧

EPO 中部／中部地方 ESD 活動支援センター

緑色：EPO 関連／水色：ESD 関連／黄色：共通

※EPO、中部地方環境事務所は業務全体に関わる

年度目標 協働・ESD 活動の質と量を拡充する EPO 中部の体制と機能を確立するため、活動支援と活動効果の明示化につながるシステムを構築します。



第5期
目標

中部地方の協働・ESD・SDGs の活動支援に資するツールとシステムと構築し、活動の質と量を拡充する EPO 中部としての方策を確立します。